

# 新居関所周辺 まちづくり通信

vol.5

発行：新居関所周辺活性化協議会  
発行日：平成23年11月1日  
事務局：湖西市新居町新居 1190-3  
TEL 053-594-0540  
(小松楼まちづくり交流館内)  
URL： <http://a-machinet.org/>

## 新居関所周辺活性化協議会 あきない 関所と「商」をつなぐプロジェクト部会報告

8月30日に行われた1回目の部会では、先進的な取り組みの事例から「富士宮焼きそば学会に学ぶ「商い」のまちづくり」について、仕掛け人の一人である長橋孝行氏に講演をいただきました。その中で出てきたキーワードは・・・

- 今あるもの（既存の宝もの）に何をプラスし、どう世の中に出していくか。
- 新居には日本一の新居関所があり、周りには文化、風景、歴史的な資源も豊富にある。

そこを見直していったらどうか。  
参加者からはこんな意見が出ました。

新居の関所は函館の五稜郭や岩手の中尊寺と同じ国の指定する特別史跡である

日本でただ一つ、建物が現存する関所。本物です！

文学碑もあちこちにあり、文学の薫りがする

気賀や箱根の関所が山を越える山の関所なら、新居は海の関所



関所の周りには江戸時代は町割りや寺道、魅力的な路地が残っている

うなぎ、牡蠣、シラス、伝統的なお菓子まで多彩な食がある・・・

浜名湖と太平洋に臨んでいる。日の出日の入りが素晴らしい

日本へ、世界へ誇れる「手筒花火」、各地へ伝えていった歴史もある



## 関所と商をつなぐプロジェクト部会報告続き

# これらの資源を「ブランド化」する

商部会第2回の検討テーマ：「関所ブランディングの検討」

ブランドとは・・・そのものを連想した際、頭の中に広がるイメージ（世界観）のこと。

新居といえば・・・  
**関所**がシンボル

関所といえば・・・何を思い浮かべますか？

関所をどのようなイメージ（ブランド）で発信するのかを検討する

## シンボルである新居関所として発信したいこと

(第2回部会話し合い結果)

- 住民や観光客にとっての価値
  - 日本にただ一つの本物  
唯一日本に現存する本物の近世の関所  
関所を支えた市民の心意気
  - 特別史跡である  
日本にとって五稜郭跡、中尊寺境内、姫路城と同じ価値

- 他の関所とは違う独自性
  - 海の関所である  
箱根の関所や中山道等の山の関所とは違う趣がある
  - 鉄砲取調べが行われていた  
江戸への武器の流出を防ぎ 260年間平和な社会を支えた
  - 江戸時代から続く手筒花火がある

今後、関所と「商」をつなげる部会では・・・  
住民や観光客が「新居」「新居の関所」と聞いた時、上記のようなイメージが頭に浮かぶよう仕掛けや手段、戦略を練っていきます。



第2回の商い部会では、26年間新居で「あらい名産ふるさとパック」（平成22年で終了）を手掛けてこられた新居消費者グループの宮城弘子さんにお話を伺いました。  
「内容はうなぎ、シラス、海苔、あさりの佃煮、梅干しなど。海の幸のふるさとパックということで喜ばれました。ゆずや手作りの花火のマスコットなどを入れて、新居の本物にこだわり、ふるさと感を届けました。」

◆編集後記◆ 検討部会もだんだん議論が白熱してきました。地域のことを想う気持ちが本気・やる気・元気に少しずつつながっていくのかなと思います。まちづくり通信はホームページでもご覧いただけます。

URL: <http://a-machinet.org/>